

結果と過程

～注目すべきもの～

校長 石神 徹

爽りの秋を彩る最初の全校行事は運動会です。運動会が日本で最初に開かれたのは、明治7年、海軍の学校と言われています。イギリスから来た教官がイギリスで行われているアスレチックスポーツを競技会の形にしました。これが全国に広がっていきました。

本校にも及んでいます。1983年の百周年記念誌に次の記録が残っています。「第一回運動会は明治36年11月7日開催。綱引き、騎馬戦、徒競走、ゆうぎなどをした。このとき親はあまり参加しなかった。」「大正10年ころは校庭は狭く砂利がしかれていました。真新しいシャツ、パンツ、運動タビをはいて、紅白帽の児童が元気よく運動会をしました。中でも呼び物は騎馬戦で乗り手の頭にせんべいをつけて新聞紙で作った刀でたたき落としました。」昭和10年の整然とした運動会の写真も残されていました。

時は流れ、体育健康面を中心とした総合的な成果発表と自主・協力・達成の成就感をねらい、運動会を継承しています。今、華はゆうぎに相当する表現でしょうか。重点的な練習期間に子どもたちは懸命でした。晴れ舞台に臨むための努力は注目されるべきものです。取組過程に詰まった喜びや悩みなどを丁寧にたどって、自分の成長の軌跡を確認させるよう努めています。重点練習二週目、特に気を付けていることを聞きました。「右や左の周りの人にあわせることです。」

「笑顔で踊ることです。」(1年)「スピードについていって、超えたいです。」(2年)「足のステップは下を向かない。前を向いて。」(3年)「決めポーズや動かない姿を堂々と。」(4年)「体を柔らかくして踊ることです。」(5年)6年生は実行委員の子どもが「音楽に合わせてるようにがんばりましょう。」「特に苦手な技を練習しましょう。」と呼び掛けていました。一つの表現をつくるために、子どもたちは様々な思考をめぐらせているのです。さらには、この表現を通して、最終的に学んだことは何か、高まった力は何か、ここまで追究していきます。これから求められる主体的で深い学びの具体がここにあります。

改めて、運動会当日の結果だけではなく、特に重点練習期間という過程に保護者のみなさまも思いをはせてください。運動会だけではありません。テストや作品などの成果物に向かう過程、発表に向かう過程、スポーツや習い事の大会に向かう過程などなど。発展途上・成長期にある子どもたちだからこそ、結果評価にとどまらず、取組過程の葛藤を価値づけ、次の意欲に結び付けたいです。

いよいよ、運動会を迎えます。逸る子どもたちの心はどのような形で表されるのでしょうか。そして、2083年に二百周年記念誌が作成されれば、平成最後の運動会はどのように記されるのでしょうか。

10月の生活目標

《安全に生活しよう》

生活指導部 島田 真里

登下校をする時は「通学路」を通ることになっています。車が多く通らず、歩道が決められている道が「通学路」となっています。しかし、その道も児童が横に広がって歩いたり、走ったり、横断歩道ではないところを渡ったりしてしまうと安全な道とはいえなくなってしまう。自らの安全を守るのは自らの行動も大切であるということをご指導していきます。地域でも声かけをお願いいたします。

10月の行事予定

- 1日(月) 都民の日
- 2日(火) 振替休業日
- 3日(水) 体育朝会(1・3・5年)
児童集会(2・4・6年)
安全指導 読書旬間始
- 4日(木) 歯科検診(4～6年)
- 5日(金) 避難訓練
- 8日(月) 体育の日
- 9日(火) 部活動体験(6年)
- 10日(水) 体育朝会(2・4・6年)
児童集会(1・3・5年)
- 11日(木) 歯科検診(1～3年)
午前授業(5年生研究授業のため)
- 12日(金) 薬物乱用防止教室(6年)
- 13日(土) 土曜授業日 月曜時間割
たてわり班遊び
情報モラル講習会・保護者会(5年)
読書旬間終
- 15日(月) 全校朝会 委員会
もりもりウィーク(短縄)始
- 17日(水) オリパラ講演会
午前授業 特別時程
(教育会全体研究会のため)
- 19日(金) 食育クイズ
- 22日(月) 全校朝会 クラブ
- 24日(水) たてわり班活動
- 26日(金) 生活科見学(1・2年)
水道キャラバン(4年)
- 29日(月) 全校朝会
- 30日(火) 午前授業
特別時程(就学時健診のため)
- 31日(水) 音楽朝会



読書旬間 10月 3日(水)～ 13日(土)

国語部 石崎 由華

読書の秋がやってきました。本校では読書旬間を通して、読書の習慣を身に付けさせ、本を読むことの楽しさや喜びを味わうきっかけ作りをしようと考えています。読書旬間中は、読書カードに読んだ本を毎日記入したり、朝自習で読書をする機会を増やしたりと、子供たちが意欲的に読書に取り組めるよう支援していきます。また、マザーグースの方による「秋のおはなし会」も予定されています。

昨年度刷新した「おすすめの本 20冊」の本のリストは、今年度更に検討をして改編しました。低・中・高学年それぞれにふさわしい本を選んだので、ぜひご家庭でもこのリストの本をお子さんに薦めてみてください。読書旬間の期間だけに限らず、日常的に本に触れる機会や、読書できる時間を作っていただくと有り難いです。

ありがとうの想いを伝えていますか？

心のふれあい相談員 須賀 浩美

相談室を利用した子ども達から「ありがとうございます。」の言葉がでると、何だかとても嬉しくなります。こちらからも「相談に来てくれてありがとう。」「お片付けありがとう。」と伝えて送ります。

「ありがとう」は誰にとってもここのよい言葉です。ご家庭でもいっぱい使って欲しい言葉です。「今日も一日ありがとう。」「生まれてきてくれてありがとう。」とありがとうの想いを「言葉」にして伝えて欲しいと思います。私もありがとうを素直にいえる大人でいたいと思います。



たくさんの関わり

4年担任 池田 美佐

4月から高学年の仲間入りをした4年生。代表委員になったり、運動会では、応援団になったりと学校全体の仕事を担当し、張り切って活動しています。学習では、平和台消防署や練馬清掃工場に出かけたり、学校外からいろいろな方に来ていただいたりしてお話を聞く機会が増えました。いつも開進第一小学校の校庭で練習をしている消防団の方々、事故の為、車椅子で生活することになったけれどパラリンピック出場を目指して頑張っている方、リサイクルのことを教えてくださった練馬清掃事務所の方々、盲導犬と一緒にだと安心して行動することができるとお話してくださった方など、直接お話を聞くことで学習を深めています。これからもジャイアンツのコーチに野球型スポーツを教わったり、義足や義肢を作っている方のお話を聞いたりする予定です。自分たちのことだけに目を向けるのではなく、少しずつ世界を広げていけるようになってきています。

